



No.56 (2016.4)

地域と結ぶ

順天堂大学練馬病院ニュース



地域の皆さまの
心と身体のおアシスで
ありたいと願っています。
何なりと
ご相談ください。

新科長の挨拶

病院開設時から腎・高血圧内科科長として約11年在任した前田国見医師の後を継ぎ平成28年3月より科長に就任致しました武田之彦(たけだ ゆきひこ)です。



腎・高血圧内科 准教授
武田 之彦

私たちが主に担当する疾患である腎臓病や高血圧は、無症状で経過することが多く初期には気づきにくい疾患です。

現在、腎不全により我が国では約30万人の方が透析療法を受けており現在も増加傾向にあります。私たちは、腎臓病の早期診断、治療を目標に練馬病院の特徴であるチーム医療を実践し、皆様に分かりやすい診療を目指します。

高血圧や尿の異常、腎炎・ネフローゼ、透析療法(血液・腹膜)など、腎臓病や高血圧に関して、御心配なことがありましたら、ご相談ください。



[透析風景]

ジカ熱について

感染対策室 飯塚智彦

ジカウイルスの名前の由来はジカの森で発見されたウイルスで、ジカ熱はジカウイルスによる感染症です。主な流行地域は南米、アフリカ、オセアニア地域で、症状は軽度の発熱、発疹、結膜炎、関節痛、倦怠感、頭痛で、ワクチンや治療薬はないため治療は対処療法のみです。



飯塚智彦

感染経路はウイルスを持った蚊がヒトを吸血することで感染します。一昨年に大きな話題となったデング熱と同じく蚊が媒介する感染症です。デング熱と比較しても感染後に発症する割合は2割程度と低く症状も軽い場合が多いと言われています。

ジカ熱で大きな問題となっているのが妊娠中の女性が感染することで胎児にも感染し、胎児が小頭症などの先天性障害を起こすことがあると指摘されている点です。

感染予防策はジカ熱の流行地域への渡航を控え、蚊が多い場所を避ける、蚊に刺されないように長袖を着用する、蚊が発生しやすい水たまりなどの環境を作らない事が重要です。



グランドピアノ紹介



本年1月に当院の2階、総合案内のそばにグランドピアノが設置されました。このグランドピアノは、順天堂大学有山登記念館講堂にて使用されておりました。有山記念館は、順天堂第5代堂主で第2代理事長有山登先生（1955－1984年）の業績を讃えて、1976年に設立されました。主に、順天堂大学医学部の入学式や卒業式、学内外の学会・研究会などに使用され、2013年4月には、順天堂創立175周年記念式典を、天皇皇后両陛下ご臨席のもと、開催いたしました。

ミニコンサートや癒しの会などで活用しております。当院へ来院された際はぜひ一度ご覧ください。

（総務課 戸崎 雄太）

当院の臨床検査技師 2 名が 「緒方富雄賞」受賞!

「緒方富雄賞」は、臨床検査領域の技術を通じて医療の発展に貢献した、臨床検査技師におくられる賞です。昨年、この栄えある緒方富雄賞を、なんと！練馬病院の2名の臨床検査技師が受賞いたしました。同じ施設から同時に2名の受賞は、緒方富雄賞が制定された昭和 63 年以来、初めての快挙です。

石井清さんは、JICA 活動による東南アジア領域への国際貢献など、血液検査を中心とした学術・教育活動が評価されました。また青木裕志さんは、病理細胞診部門における学術・教育活動が評価されました。現在、石井さんは臨床検査科技師長、青木さんは病理検査室責任者として練馬病院の診療をしっかりと支えています！



左から2番目 石井さん 3番目 青木さん
(病理診断科 小倉 加奈子)

メディカルラリーについて

救急・集中治療科 近藤彰彦

この度、神奈川メディカルラリーに出場し全国から集まった全 14 病院の中で、優勝することが出来ました。

メディカルラリーとは各病院の医師、看護師、救命士がチームを組み主に病院前救護の知識や技術を競う会です。今回は先の新幹線火災をモデルにした症例やマラソン大会での爆発事故を想定したシナリオなど全 7 シナリオで競いました。

病院前救護に関しては日常勤務では経験できないことが多く含まれております。当院は災害拠点病院であり近隣で多数傷病者が発生した際には重要な役割を担う責務があります。この様な経験を今後も積んでいくことで、有事の際には中心的役割を担えるよう今回の結果に満足せず今後も日々精進していきたいと思っております。



近藤 彰彦

順天堂大学練馬病院チーム「NERIMAILE」



左から 高橋、高見、近藤、吉田、柳沼、篠崎



第1回「糖尿病病態栄養専門管理栄養士」に 当院栄養科の高橋徳江管理栄養士が合格

「糖尿病病態栄養専門管理栄養士」とは、糖尿病に関連する病態と栄養の知識と専門技術を習得し、臨床経験を積んだ管理栄養士として日本病態栄養学会・日本栄養士会が認定した資格です。合格者は全国で18名だけです。

参加者同士が自分の病歴を自由に語り合い、リラックスした雰囲気の中で食事療法の理解を深めていくことができるように努めています

<糖尿病集団教室>



<個別栄養相談>



相談者の気づきを促しながら押しつけではなく、自主的に目標設定ができるような相談を心がけています

『健康のために食事を中心とした生活習慣の見直しをしてみませんか？是非一度栄養相談をお受けになることをお勧めします。予約制になっておりますので、担当医にお申し出ください。皆さんと一緒に学ぶことができるのを楽しみにしております。』

栄養科科长 荻原 大貴

新入職者のオリエンテーションを開始しました。

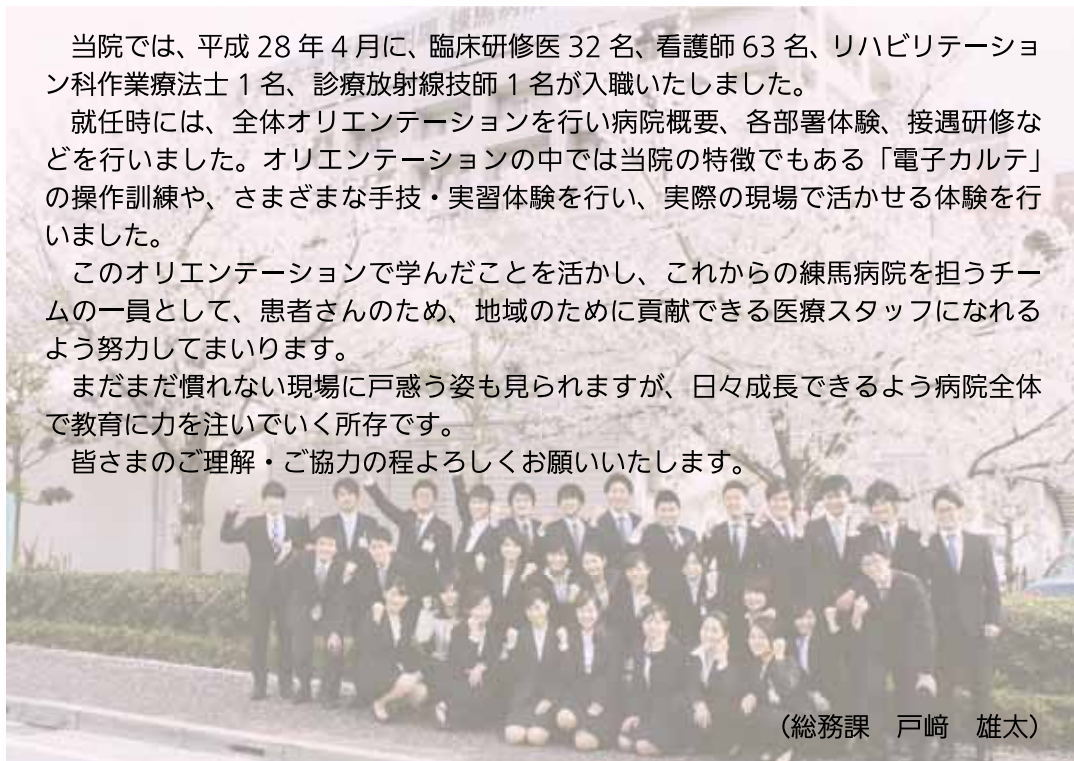
当院では、平成28年4月に、臨床研修医32名、看護師63名、リハビリテーション科作業療法士1名、診療放射線技師1名が入職いたしました。

就任時には、全体オリエンテーションを行い病院概要、各部署体験、接遇研修などを行いました。オリエンテーションの中では当院の特徴でもある「電子カルテ」の操作訓練や、さまざまな手技・実習体験を行い、実際の現場で活かせる体験を行いました。

このオリエンテーションで学んだことを活かし、これからの練馬病院を担うチームの一員として、患者さんのため、地域のために貢献できる医療スタッフになれるよう努力してまいります。

まだまだ慣れない現場に戸惑う姿も見られますが、日々成長できるよう病院全体で教育に力を注いでいく所存です。

皆さまのご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。



(総務課 戸崎 雄太)

皆さまへお願い

- ・ **31日以上長期処方**の安定した患者さんは、出来るだけかかりつけ医での処方をお願いいたします。
- ・ 「くすりはリスク」。7剤以上の多剤処方は出来るだけ少なくいたします。



皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

なお、ご旅行や年末年始などで31日以上処方が必要な場合には、遠慮なく主治医までお申し出ください。



Airway
Breathin
Circulat

順天堂大学医学部附属練馬病院 院長

